



特別企画

人材育成に取り組むクラブ



NPO法人クラブぽっと ＜石川県金沢市＞



活動基盤・活動環境をより充実させ、持続可能な総合型クラブの運営を目指すには、効果的な事業計画を企画・立案できる人材が求められるとともに、常に先を見据え、異業種・異業態も含めた広い視野と多様性を持つ人材の育成・確保をしていくことが重要です。

そこで今回は、大学生と連携し、人材育成に取り組むクラブについてご紹介します。



1 クラブ概要

クラブ理念を基に5部門で事業展開

NPO法人クラブぽっとは、平成21年4月から杜の里スポーツクラブとして活動を始め、NPO法人化とともに名称変更し、現在の活動につながっています。以下のようなクラブ理念を掲げ、この理念を達成するために、5つの部門の事業を展開しています。

【クラブ理念】

1. 誰もが集い、育てるクラブ
2. 互いに学び、成長できるクラブ
3. 未来を見つめ、地域を拓くクラブ
4. みんなの想いが実現するクラブ

【展開事業5部門】

1. スポーツクラブ部門：幼児、小学生向けのスポーツ教室の開催や高齢者向けの健康づくり教室の開催等
2. 次世代育成部門：子ども向けの自然体験活動等
3. 人材育成部門：スタッフ向け研修会の開催、教材の提供等
4. 人材派遣部門：地域の幼稚園での体育指導、講習会への講師派遣等
5. 地域応援部門：地域のお祭りへの参加など地域行事でのボランティア活動等

理念にもある人が育つクラブとして、いくつかの人材育成プログラムを実施しています。これらの事業を実践するために常勤職員2名、非常勤職員2名、また多くのスポーツ指導者やボランティアスタッフ(地域住民)、地域に住む大学生らがスタッフとして関わっております。

2 人材育成で大切なのは 「スタッフの想いに合わせてサポート」

近隣に3大学も交流機会が希薄→多くの学生をスタッフとして受け入れ

NPO法人クラブぽっと(旧杜の里スポーツクラブ)は、地域スポーツ環境の充実はもちろん、地域課題の解決につながるクラブとして設立されました。我々の活動地域には近隣に3つの大学があり、多くの大学生が住んでいます。しかし、県外から来て4年間しか住まない大学生と元々居住している地域住民との交流の機会はなく、ごみ問題や騒音の問題等お互いのすれ違いによるトラブルがありました。また、設立当初地域に住む大学生は大学で学んだことを実践したり経験したりする場が少なく、実践の機会を求めています。そこで、地域に住む大学生がクラブを通して地域住民と交流し、活動を通して学びながら成長できる機会を提供できればと多くの大学生をスタッフとして受け入れ、指導者や企画運営者、地域ボランティアのスタッフとして関わってもらっています。

クラブ側から個別に学生に声がけ

平成20年からクラブ設立のための準備委員会を立ち上げていて、地域に大学生が住んでいることや筆者が金沢大出身だったこともあり、後輩や興味のある学生に声をかけて準備委員会のメンバーとして大学生が参加していました。

その流れの中でクラブから個別に学生に声をかけたり、関わる学生が興味のある学生を連れてきたりして、常に学生が関わっている状況です。大学生と地域住民の交流ということがクラブのテーマの1つだったので、クラブ側から個人の学生に声をかけて関わったのが始まりです。

毎年学生が入れ替わる苦労も、「そこをマネジメントすることが業務」

個別に学生が関わるのでその都度「クラブぽっとの理念」「活動内容」などを1時間程度お話ししたり、「学生の興味のあること」について学生から話を聞く時間をとります。10人新しく学生が関われば10時間、20人関われば20時間以上時間をかける必要があります。とても大切で重要な時間ですが、職員の時間をそれに割かなければいけないという苦労はあります。

当然、学生は4年間で卒業するのでその都度入れ替わりがあり、毎年それを繰り返すことになります。また、学生が入れ替わることで後任のスタッフを探さなければいけないという苦労はありますので、この点が一番大変かもしれません。

ただ、学生が関わり、その学生がクラブについて理解していることが、その後につながるのに必要な苦勞であり、そこをマネジメントすることが業務だと思っているので大きな苦勞とは感じておりません。

学生・スタッフ向けに各種研修会を実施

スポーツ教室の指導者や企画運営者として機会の提供を行うだけでは学生の成長につながりませんし、地域住民や会員の方へもよいサービスが提供できません。そこで学生スタッフやクラブスタッフ、ボランティアスタッフ向けにそれぞれが成長できる取り組みを「人材育成部門」として事業を立ち上げ実施しています。例えば、スポーツ教室の指導者向けに実技指導に関する研修会を実施したり、コーチングやコミュニケーションに関する研修会を実施したりしています。また、スキルの研修会以外にも自信のクラブでの成長と向き合うリフレクション(内省)ワークショップも開催しています。

また、研修会やワークショップの開催だけでなく、日々の活動での振り返りは必ず行い、その場にクラブスタッフが参加し、個人個人に合わせたサポートや助言を行っています。それ以外にもクラブ事務所に様々な教材を用意したりすることで気軽に自分で学べる空間をつくっています。こうした人材育成プログラムの検討および実施、コーディネートをクラブ職員が行っているわけですが、人材プログラムの中で一番意識をし、工夫をしていることは、「一人ひとりの想いに合わせてサポートすること」です。

スタッフとのコミュニケーションを図りつつ学びの場を提供

クラブには様々な思いの学生や地域の方が関わってくれています。子どもに関わりたいスタッフもいれば高齢者に関わりたいスタッフもいます。運動指導について学びたいスタッフもいれば学習支援について学びたいスタッフもいます。この多様な想いや学びたいことに合わせるために、職員は日々スタッフとコミュニケーションをとり、「今何に困っているのか」、「何を学び、経験したいと思っているのか」などを把握し、どのような機会をつくってあげることが成長につながるかを考えています。そして必要に応じて研修会を企画したり、学びの場を提供したりしています。

「自ら学び、自ら成長できる」仕組み

これらの研修会や学びの場は全てのスタッフが強制参加ではなく、参加したいスタッフが自分で選び参加できる仕組みにしています。自分に必要な学びを選び、参加することでより質の高いプログラムになります。「自ら学び、自ら成長できる」仕組みをつくることはクラブとして会員向けに行っている事業と通ずるところがあると感じています。



講師を招いてのスタッフ研修会の開催
(コーチング研修)



指導スタッフを対象とした
実技研修会の開催

3 取り組みの効果や課題

学生スタッフの成長でクラブ事業が充実

スタッフの現状を把握し、それに対して必要な研修会や学びの場を提供することでスタッフ(特に学生スタッフ)が成長し、それによりクラブ事業の充実や会員へのサービス向上が一番の効果だと感じます。実際に学生が企画したイベントにより新しいプログラムが実施できたり、スタッフが成長することで会員数が伸びた教室もあつたりします。

会員や地域の方々も学生スタッフを応援

会員の方々の学生スタッフへの評価は上々です。大学生スタッフというよりはクラブぽっとのスタッフ・指導者として地域の方や会員の方が見えていますので「学生だから」という声はありません。いい意味で大学生と社会人スタッフの区別がなくなっている気がします。

それを踏まえた上で、若いスタッフに会うことを楽しみにしていて「元気がもらえる」とおっしゃっている高齢者の方がおられたり、子どもに一生懸命向き合って頑張っている姿を見て感謝の気持ちを伝えてくれる方が多いです。また、「学生スタッフで食べて」と差し入れを持ってきてくれる方がいたり、学生側の相談にのってくれる地域の方がいたり、学生スタッフを応援してくれる地域の方もおられます。

学生からの新たな人材紹介でスタッフ増に

また、学生スタッフが成長し、主体的にクラブ活動に参加することで新しい学生を紹介してくれたり、新たなスタッフを巻き込んでくれたりするので、関わるスタッフが増えることにもつながります。その結果、学生と地域住民との交流も盛んになります。また、多様な人材が関わることで多様な研修プログラムを実施できるというメリットもあります。

職員の負担軽減、財源確保が課題

一方、基本的に人材育成プログラムは無償でスタッフに提供（一部有償）しているので、職員の負担が増えたり、財源確保が難しくなったりするという課題もあります。多くの学生が関わることで多様な人材が関わり、多様な研修プログラムの開発も必要になってくるとい側面もあります。

今後の課題としても職員の負担軽減および財源確保が考えられますので、学生が学生を教えるプログラムや卒業生を含めた地域住民が提供するプログラムなど新しい形の研修プログラムも必要になってくると考えています。



学生企画のイベント打ち合わせ



学生企画の実施（開催新聞記事）

4 「人」を大切にし、共に成長できるクラブを標榜

小学生会員が後にスタッフに 大学卒業生が講師に

「誰もが集い、育てるクラブ」、「互いに学び、成長できるクラブ」というクラブ理念にある通り、学生を含めた様々な方々がスタッフや会員、支援者としてクラブに関わり、そして成長していきけるクラブでありたいと考えています。

ありがたいことにクラブの会員として活動に参加してくれていた小学生が中学生になり、クラブ活動のボランティアスタッフとしてお手伝いをしてくれています。また、クラブ設立当初小学生だった子が現在大学生になりクラブに関わってくれています。そして、大学生としてクラブに関わってくれていた卒業生が現在クラブに関わる学生向けのワークショップの講師をしてくれています。

「人」に支えられている地域とクラブ

このようにクラブに関わる人々が成長し、その先にクラブに対する恩返しはもちろん、次の世代への恩送りをしてあげていることは、クラブが目指している姿を表していると思います。

様々な課題はありますが、地域もクラブも「人」によって支えられています。そういった「人」を大切にし、共に成長できるクラブであり続けるために、今後も様々な活動を継続していきたいと考えています。

(NPO法人クラブぽっと クラブマネジャー 森 亮太)

クラブプロフィール

設立年月日	平成21年3月29日(平成25年4月15日法人登記)
所在地	石川県金沢市
運営	会員数271名(令和3年10月現在)、予算規模1,675万円(令和3年度)
特徴	■運動・スポーツ・健康づくり活動を通して健康あふれる楽しいまちづくりに貢献する団体 ■理学療法士やトレーニングコーチなど専門家が関わる ■地域に住む大学生が学びの場として関わる
連絡先	〒920-0941 石川県金沢市旭町2-19-33 ブライト・イン押田1階 TEL 076-223-2360 FAX 076-223-2360 URL https://mori-spo.wixsite.com/clubpot E-mail mori-spo@hotmail.co.jp